

I 令和6年度 事業報告書

第1 事業の概要

令和6年度は、外国人市民と日本人市民に交流の場を提供し、本市の国際化を積極的に推進するための国際交流活動拠点である「千葉市国際交流プラザ」が、千葉都市モノレール「市役所前」駅に直結した「中央コミュニティセンター（中央区千葉港2）」の大規模改修工事に伴い、令和6年9月2日に千葉都市モノレール「葭川公園」駅から徒歩2分の「フジモト第一生命ビルディング（中央区中央3）」に移転した年度であった。

移転前の所在地には、外国人が在留許可やその更新時に必ず利用する出入国在留管理庁（入管）が併設されていたとともに、かつ、建物内や至近距離に千葉市の行政窓口がある等、在留外国人市民及び新規外国人市民にとっては、非常に大きなメリットのある立地に存在していた。これに対して、移転後は、至近距離には前述した関係官公署がほとんど無く、移転前と比較して利便性は低くなったものの、中心市街地の利点を積極的に活かして、多くの外国人市民に周知されるよう引き続き事業を推進していく。

また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により中断していた渡航を伴う青少年交流事業は、アメリカ・ヒューストン市からの受入を令和5年度に再開したことを皮切りに、令和6年度は、ヒューストン市への派遣及びカナダ・ノースバンクーバー市からの受入と本市からの派遣を同時に再開した年度であった。

その他、令和4年3月に始まったウクライナ避難民に対する支援を引き続き実施したほか、外国人市民と日本人市民が互いの文化の違いを認め合いながら共存する多文化共生社会の実現に向けて、千葉市からの受託事業を引き続き実施するとともに、協会による各種自主事業を展開した。詳細については、以下のとおりである。

1 自主事業

(1) 多文化理解推進事業

多文化理解推進事業では、青少年交流事業としてアメリカ・ヒューストン市への派遣、カナダ・ノースバンクーバー市からの受入及び同市への派遣を実施した。また、日本語を学んでいる外国人市民がその成果を発表する場として日本語交流会を開催したほか、ハロウィンをテーマとした国際交流パーティーやウクライナ避難民のひとりを講師に招き、日本人市民に対してウクライナ料理の紹介を通じて両国の理解を深めるための国際理解講座を実施した。

(2) 外国人市民支援事業

外国人市民への支援事業では、協会職員による外国人市民向けの生活相談、無料で相談可能な外国人市民への法律相談を実施したほか、在葉の大学に通う市内在住の留学生を対象にした留学生交流員事業や災害時に備えた外国人支援として、災害時の対処方法や避難情報等をホームページやフェイスブックを通じて発信する災害時外国人市民支援事業を実施した。

なお、例年は外国人市民とともに「九都県市合同防災訓練」に参加しているが、令和6年度は、協会事務所移転時期が当該防災訓練日と重複したため、やむなく不参加となった。

(3) 市民活動支援事業

市民活動支援事業では、各種ボランティアの登録・コーディネート、高い言語能力等の資質を備えた「コミュニティ通訳・翻訳サポーター」を、行政手続きや医療、教育、健康、福祉、子育て等の分野において、外国人市民との円滑な意思疎通や正確な情報伝達の支援、国際交流・国際協力活動をしているボランティア団体への助成、「ちば市国際ふれあいフェスティバル」の開催支援を事務局となり実施した。

(4) 情報収集・提供及び調査

情報収集・提供及び調査では、ホームページやフェイスブック、LINE等を活用し、千葉市や千葉県、国から出された各種の情報を多言語で迅速に情報発信した。また、協会情報誌「ふれあい」を発行したほか、ちば市政だよりを始めとする有益な生活情報を、「外国人のための『ちば市政だより』」として自動翻訳機能を持つ協会ホームページに掲載することにより情報提供を行った。

2 受託事業

(1) 千葉市から委託を受けた事業

千葉市からの受託事業として、国際交流や外国人市民に対する相談、情報の提供などの場である「千葉市国際交流プラザ」の運営業務を実施したほか、千葉市が令和2年度に策定した「千葉市地域日本語教育推進計画」に基づいて「生活者としての外国人」の日本語教育・日本語学習支援に係る取組みを総合的に進めることを目的とした「地域日本語教育推進事業」を実施した。

第2 事業内容

1 自主事業

(1) 多文化理解推進事業

ア 交流サロン

日本人市民と外国人市民が気軽にふれあい、交流し、情報交換や国際化の理解を深めることができる場を設け、多文化理解の推進を図った。

イベント名等	開催日	内 容 会 場	参加者 () 内外国人
七夕の文化紹介及び飾り付け	6月19日～ 7月8日	日本の伝統である七夕を外国人の利用者に紹介し、日本人利用者と一緒に飾り付けをして交流を図った。 国際交流プラザ	65人 (短冊数)
日本語交流会	10月19日	国際交流プラザや千葉市内の日本語教室等で日本語を学んでいる外国にルーツをもつ9人が日本語によるスピーチを行ったほか、ギターを演奏しながら日本の曲を歌唱した。 国際交流プラザ	58人 (21人)
国際交流ハロウィンパーティー	10月25日	日本人と外国人が気軽に交流できる場の提供、オープンな場所での国際交流（交流会）を目的として、ハロウィンをテーマに、千葉市との共催で開催した。 市民ヴォイド（市役所1階）	500人 (50人)
国際理解講座「外国の料理に挑戦！～ウクライナの家庭料理を作ろう」	1月26日	千葉市で受け入れたウクライナ避難民を講師として、参加者とウクライナ料理を作るとともに、食事をしながらウクライナ語やウクライナの文化紹介等による交流を都賀公民館との共催で開催した。 都賀公民館	12人

イ 青少年交流（市補助）

姉妹・友好都市における市民レベルでの交流を図り、次代を担う青少年がお互いの国の文化や歴史、生活等について理解を深めるため、毎年度、夏休み期間を利用して派遣及び受入を実施している。

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症が終息したことから、カナダ・ノースバンクーバー市の高校生の受入れ及びノースバンクーバー市への高校生の派遣を5年ぶりに実施したほか、アメリカ・ヒューストン市への中学生の派遣を5年ぶりに実施した。

姉妹・友好都市	期間・実施日・内容	人数
アメリカ ヒューストン市 (38回目)	<p>【派遣】8月14日～25日 NASA見学、フードバンクでのボランティア活動、現地中学校での体験授業、市役所・在ヒューストン日本国総領事表敬訪問、日本文化の紹介等 ＜派遣生の研究テーマ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策に対する認識と取り組みの現状 ・アメリカの食 ・日本とアメリカのお留守番事情 ・日本とアメリカの家族に関する比較調査 <p>＜引率者＞ 市立中学校 教諭</p>	<p>【派遣】 中学生4人 引率者1人</p>
カナダ ノース バンクーバー市 (51回目)	<p>【派遣】8月5日～20日 ノースバンクーバー市役所表敬訪問、市内見学、キャンプ、砂金探し体験、漁村博物館等の見学、自然体験、日本文化の紹介等 ＜派遣生の研究テーマ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学に対する、カナダ・日本の人々の捉え方の違い ・日本とカナダの芸術文化に関する相違点と共通点について ・カナダの自然環境について ・カナダの自然保護について <p>＜引率者＞ 市立小学校 教諭</p>	<p>【派遣】 高校生4人 引率者1人</p>
	<p>【受入】8月6日～20日 前年度にノースバンクーバー市に派遣した千葉市の派遣生と共に、市内施設見学や千葉市の歴史学習、日本文化体験等を通して、異文化理解を深めるとともに、市民との交流を図った。 ＜主な滞在スケジュール＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長・議長表敬訪問 ・親子三代夏祭り（神輿体験・千葉おどり参加） ・千葉都市モノレール車両基地見学 ・千葉市科学館見学 ・郷土博物館見学（千葉氏や大賀ハスの歴史学習・装束体験） ・日本文化体験（千葉郷土料理「太巻き祭り寿司」料理体験） ・千葉県立中央博物館見学 ・千葉中央ライオンズクラブ納涼会（三味線演奏・体験） 	<p>【受入】 高校生4人 引率者1人</p>

ウ 語学講座

国際交流ボランティア活動支援及び育成を図り多文化理解を推進するため、ボランティアや賛助会員を対象に語学サロンを実施した。令和6年度は、ウクライナ避難民を講師に迎えてアートセラピーサロンをウクライナ語にて開催した。

講座名（会場）	期 間	時間等	講師	受講者
初級英語サロン （国際交流プラザ）	6月5日～ 7月24日	2時間× 7日	【市職員】 ケイティ セクストン	24人
ウクライナ語で体験！ アートセラピーサロン （国際交流プラザ）	6月7日～ 6月21日	2時間× 3日	【ウクライナ人避難民】 ムフリギナ オレナ	9人

世界一周体験 ジャマイカ、台湾、韓国、 ベトナム、メキシコ (オンライン)	10月5日～ 11月9日	2時間× 5日	【協会職員】 カー 宏美 (英語) 沈 淑媛 (中国語) 金 銀貞 (韓国語) グエン ゴック ハン (ベトナム語) 川上 隆義 (スペイン語)	3人
ステップアップ英語サロン (国際交流プラザ)	10月9日～ 11月27日	2時間× 7日	【市職員】 ケイティ セクストン	17人

エ 多文化共生推進

(ア) 各種イベント等

外国人市民と日本人市民の相互理解の促進による多文化共生を実現し、お互いに住みやすい社会を築いていくために行政、学校、ボランティア、自治会等の地域との連携を図り事業を実施したほか、千葉市や他の関係団体が開催する各種イベントに参加し、多文化共生推進にかかる事業の説明や活動紹介、協会のボランティア制度やその重要性に対する理解促進を図った。また、関係団体等からの調査への協力、会議メンバーとしての参加等により多文化共生社会実現に向けた取組みを進めた。

<多文化共生の啓発>

名 称	開催日	場 所	内 容
千葉市立稲毛高校・附属中学校・稲毛国際中等教育学校 学校評議員会	6月28日 3月5日	千葉市立稲毛高校・附属中学校・稲毛国際中等教育学校	学校評議員として学校評議員会に出席し、意見交換等を行った。
やさしい日本語ガイダンス	7月22日 2月17日 2月20日	国際交流プラザ 美浜保健福祉センター 中央図書館	緑保健福祉センター健康課、人材育成課からの依頼により、市役所の職員を対象とした研修会、やさしい日本語の活用を啓発する講義を行った。
生活オリエンテーション	11月11日 12月24日	ハートブリッジ協同組合事務所	技能実習生の監理団体からの依頼により、ベトナムやインドネシアからの技能実習生に対して、日本で生活する上での留意点等を説明するオリエンテーションを行った。
法政大学 インタビュー対応	11月20日	国際交流プラザ	協会の外国人出身の職員に対して、日本に滞在している理由等のインタビュー対応を行った。
芝浦工大柏高等学校 インタビュー対応	12月12日	国際交流プラザ	マイクロアグレッション（無意識の差別）の研究に対して、協会の外国人出身の職員が協力を行った。
千葉大学 インタビュー対応	12月24日	国際交流プラザ	外国人市民の労働と教育をテーマとした社会学実習に対して、インタビュー対応を行った。
國學院大學久我山高等学校 インタビュー対応	2月12日	国際交流プラザ	アートを通じて外国人と触れ合いたいという高校生に対して、アドバイスを行った。

<千葉市やその他団体との連携>

名 称	開催日	場 所	内 容
外国人相談窓口連絡会	5月31日	オンライン	東京出入国在留管理局が開催した会合に参加し、各外国人相談窓口の取組や事例等について学んだ。

多文化共生社会づくり 連絡協議会	7月10日	県教育会館	千葉県国際課が千葉県における多文化共生社会の推進を図るために設置している協議会に出席し、意見交換等を行った。
外国につながる高校生の 進路ガイダンス	7月13日	中央コミュニティセンター	NPO法人多文化フリースクールちばが、外につながる高校生を対象として開催した進路ガイダンスに出席し、課題等の把握や関係者との意見交換を行った。
外国人関係機関との懇 談会	7月30日	オンライン	千葉県弁護士会が主催した懇談会に出席し、外国人の法律問題に関する事例研究や意見交換を行った。
千葉県災害時多言語支 援センター運営訓練	8月21日	市文化センター	千葉県及び（公財）ちば国際コンベンションビューローが主催した「千葉県災害時多言語支援センター運営訓練」に参加し、被災時における関係機関との連携を深めた。
国際交流・協力等ネッ トワーク会議	9月5日	市文化センター	（公財）ちば国際コンベンションビューローと千葉県の共催により県内の国際化を推進することを目的に開催した会議に出席し、意見交換等を行った。
市営住宅入居説明会	12月26日	市住宅供給公社	市営住宅入居説明会での通訳及び生活のルールについてのアドバイスを行った。
都道府県・政令指定都市 日本語教育担当課長会 議	1月16日	オンライン	文部科学省が日本語教育に関する情報や課題を国と都道府県・指定都市が共有、連携することを目的に開催した会議に出席し、意見交換等を行った。
9都県市外国人相談企 画研究会	1月21日	オンライン	大都市圏に共通する外国人相談の諸問題を研究討議し外国人相談事業の有効的な運営をはかることを目的に、地域内の自治体及び地域国際化協会で構成された研究会に出席し、意見交換等を行った。
関東地域国際化協会連 絡協議会	2月13日	オンライン	関東・甲信地域の地域国際化協会が相互に協力、連携して、地域における国際交流及び国際協力の推進を図ることを目的とした会合に出席し、意見交換等を行った。 （幹事：川崎市国際交流協会）
全日本アルパコンクー ル&アルパコンサート	3月1日	市文化センター	千葉市の姉妹友好都市であるパラグアイの民族楽器アルパのコンクールに出席し、「千葉市国際交流協会賞」を授与した。

<協会事業のPR・ボランティアの獲得>

名 称	開催日	場 所	内 容
春からはじめるボラン ティア！身近な5施設 活用術	5月25日	市生涯学習センター	千葉市生涯学習センターがボランティア活動に関心を持つ市民向けに開催したイベントに講師として参加し、協会の活動等の説明を行い、ボランティアの獲得に努めた。
CMBデザイン国際交 流フェスティバル	10月12日	中央公園	外国人留学生が多く在籍している千葉モードビジネス専門学校が開催したイベントにブースを出展し、協会事業のPRや防災に関する啓発等を行った。

出張！千葉市民活動 市民センター	10月18日	市役所	千葉市民活動支援センターが市民活動を活性化することを目的に開催したイベントで、協会活動のPR資料を配架した。
生涯学習 ボランティアフェア	11月16日 ～ 11月24日	市生涯学習 センター	千葉市生涯学習センターが市民のボランティア活動や生涯学習への関心を広めることを目的に開催したイベントに協会のボランティア制度や活動についてのパネル展示等を行った。
千葉市民活動フェスタ	11月16日 ～ 11月17日	きぼーる	千葉市民活動支援センターが市民活動を活性化することを目的に開催したイベントで、協会活動のPR資料を配架した。
ちばし地域づくり大学 校講座「今後の活動に 向けたヒント」	12月14日 12月20日 12月24日	オンライン 市役所 市役所	ちばし地域づくり大学校が地域活動を始めたい市民向けに開催した講座に講師として参加して協会の活動等の説明を行い、ボランティアの獲得に努めた。

<研修・セミナー等出席>

名 称	開催日	場 所	内 容
配偶者暴力関連スーパー ビジョン	5月22日 ほか 計3回	市役所	千葉市こども家庭支援課が主催したDV被害者からの相談に適切に対応し効果的な支援が行えるよう実施された会合に参加し、対応について学んだ。
地域国際化協会職員国 内研修	11月6日	オンライン	(一財)自治体国際化協会が主催した研修に参加し、令和6年能登半島地震における広域連携や相談員のメンタルケア等について学んだ。
外国人相談窓口連絡会	11月20日 2月25日	オンライン	東京出入国管理局が主催した相談員向けの研修会に参加し、外国人向けの日本語教材や入管法等について学んだ。
多文化共生推進研修	12月18日	オンライン	(一財)自治体国際化協会が主催した研修に参加し、外国人コミュニティに向けた情報発信等について学んだ。
多文化共生セミナー	2月4日	市役所	千葉市国際交流課が主催した「お隣の外国人とともに暮らす」をテーマとした研修に参加し、異なる言語や文化を持った外国人とともに暮らす多文化共生社会のあり方等の講義を受けたほか、講師や市役所職員との意見交換を行った。

(イ) 市及び公的機関からの文書等翻訳及び通訳

千葉市からの依頼に基づき、行政サービスに係る文書等の翻訳について、協会職員が多種多様な内容の翻訳に対応した。同様に通訳の依頼についても対応した。

翻訳言語	翻訳件数	主な翻訳内容
英語	11件	文化財課 稲荷神社説明文
中国語	18件	保健体育課 歯の健康に関する配布文書
		産業廃棄物指導課 不法投棄注意・警告文書
韓国語	26件	収集業務課 ごみの分別・排出ルール
		幼保指導課 医療機器預かりや個人情報に関する同意書
スペイン語	25件	住宅政策課 団地住み替え支援事業リーフレット

ベトナム語	28 件	東部・西部児童相談所 入所保護者宛手紙 健康支援課 出産応援給付金申請案内 健康保険課 国民健康保険督促状、マイナ保険証案内、所得申告 防災対策課 避難所ルール 保護課 価格高騰重点支援給付金 観光プロモーション課 千葉市観光パンフレット 国際交流課 生活ガイドブック、市民アンケート 他
ウクライナ語	2 件	保育所からの保護者宛連絡、国民健康保険料所得申告案内
合 計	110 件	

通訳言語	通訳件数	主な通訳内容
英語	5 件	国際交流課 カナダ・ハンズワース高校市長表敬訪問 パラトリアスロンアジアカップ開催に伴うワールドトライ
スペイン語	1 件	アスロンスポーツ部門運営責任者との市長面会 駐日パラグアイ特命全権大使による市長表敬訪問 ケニア共和国ナイロビ市郡幹部の市長訪問 他
合 計	6 件	観光M I C E 企画課 e スポーツの国際大会主催者とのWEB会議

(2) 外国人市民支援事業

ア 外国人生活相談

多文化共生コンシェルジュや外国人生活相談員を配置し、言語や習慣の違いなどから生じる日常生活の悩み等について、外国人市民並びに日本人市民からの相談を窓口や電話、メール、LINE等で対応したほか、各区役所・保健福祉センターに配置されたタブレット端末を活用してオンラインによる相談を行った。

そのほか、ロシアの軍事侵攻から逃れるために来日したウクライナ避難民を千葉市でも多数受け入れていることから、就労や受診時の通訳等、生活に必要な各種支援を行った。

言語	方法	件数	人数
日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ベトナム語、ウクライナ語 等	協会窓口、電話、メール、LINE等	2,073 件	1,804 人

イ 外国人法律相談

外国人市民が直面する法律的問題を解決するため千葉県弁護士会の協力により無料法律相談を実施した。

回数：21回開催(うち平日昼5回、夜間6回、土曜日10回)

件数：42件

ウ 外国人留学生交流員(市補助)

市内大学に通う本市在住留学生4人を「千葉市外国人留学生交流員」に任命し、多文化共生社会の実現に寄与する留学生社会のキーパーソンとして育成することを目的に事業を実施した。

今年度は、新規に町内自治会の行事に参加し、企画から実施までの協働を通して、留学生交流員に地域社会の仕組みを学んでもらうと同時に、地域の行事の活性化並びに自治会メンバー、地域住民との交流を通じた相互理解の促進を図った。

<留学生交流員 4人>

在籍大学	出身地	在籍大学	出身地
神田外語大学	韓国	千葉大学	中国
敬愛大学	スリランカ	千葉大学	タイ

<町内自治会行事 協働活動内容>

自治会名	活動内容
第19地区	稲子祭（稲毛小学校）実行委員会委員として活動に参加 <ul style="list-style-type: none"> ・企画会議 ・竹風鈴作りワークショップ運営支援 ・会場事前準備 ・ステージ発表及び出展
第36地区	町内自治会の年間を通した行事運営支援 <ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り（幸町公園）にて出店手伝い、盆踊り参加 ・金曜ふれあい市（幸町千葉ガーデンタウン）にて高齢者への買い物支援、屋台設営、販売手伝い、高齢者自宅まで物品配送手伝い ・防災訓練（幸町第三小学校）にて支援物資配給手伝い、避難所受付、消防士によるAED訓練等参加 ・餅つき大会（幸町千葉ガーデンタウン）にて豚汁作り及び配給手伝い、餅つき参加
第38地区	稲浜小地区ファミリー運動会運営スタッフとして活動に参加 <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議 ・運営進行係として協働（参加者配列、競技参加等） ・次年度に向けた反省会参加（意見交換等）
第47地区	打瀬中学校でのエキサイティング講座講師 <ul style="list-style-type: none"> ・事前企画会議 ・国際講座講師 （自国文化や留学経験の講義、生徒とのグループワーク）

エ 災害時外国人市民支援

- (ア) 「千葉市災害時外国人支援センターの設置・運営に関する協定（平成26年8月28日締結）」に基づき、台風接近に伴う情報発信をホームページのほか、フェイスブック及びLINEで行った。なお、令和7年2月1日付で、同協定の改正を行い、センターの名称を「千葉市災害時多言語支援センター」に変更した。
- (イ) 「避難行動要支援者名簿掲載申請手続き及び個人情報の取扱いに関する協定（平成26年6月30日締結）」に基づく事業

(3) 市民活動支援事業

ア ボランティアコーディネーター

市民が個々に有する能力を有効に活用し、地域に根ざした国際交流・国際協力事業の推進を図るため、ボランティアの登録・コーディネーターを行った。

内容	登録件数	斡旋依頼件数	活動延べ人数	主な実績
通訳	903	2	2	韓国スウォン市庁地域高齢者福祉関連公務員による花見川いきいきプラザ視察時通訳 タイフェスタ2024@幕張新都心通訳 言語：韓国語、タイ語
翻訳		2	2	姉妹都市モントルー市からの文書翻訳 言語：フランス語

災害時語学	281	0	0	—
ホームステイ	128	1	2	千葉市姉妹都市カナダ・ノースバンクーバー青少年交流事業 引率者受入家庭（2週間）
ホームビジット	197	0	0	—
文化紹介	279	1	1	都賀公民館共催「ウクライナの家庭料理講座」ウクライナ人講師
日本語学習支援	643	177	1,311	1対1日本語活動、初級クラス、グループクラス、にほんごではなすかい
国際交流支援	590	2	8	日本語交流会 司会、会場設営 等
合計	3,021	185	1,326	

イ コミュニティ通訳・翻訳サポーター（市補助）

高い言語能力等の資質を備えた通訳・翻訳ボランティアを「コミュニティ通訳・翻訳サポーター」として認定し、行政手続きや医療、教育、健康、福祉、子育て等の分野において、外国人市民との円滑な意思疎通や正確な情報伝達の支援を行った。

サポーターの認定にあたっては、対人援助適性、通訳技術、守秘義務、中立性などの行動規範等を学ぶ講座の受講を必須としたほか、医療現場や教育現場にて適切な支援をするための知識習得のための各種講座を開催した。

(ア) コミュニティ通訳・翻訳サポーター認定登録者

昨年度より、新たにウルドゥー語、カザフ語、クメール語の3言語が増えたことで、より対応できる言語の幅が広がった。

また、認定者には現役医師や看護師がおり、専門知識を有する登録者が更に増加したことで、医療など専門性の高い分野での需要に、より一層応えられるようになった。

令和6年度認定者数 41人（内外国出身者 15人）

認定者総計 202人（内外国出身者 67人）

<通訳> 45件 登録言語数 13言語（認定者総計 210件 登録言語数 25言語）

<翻訳> 43件 登録言語数 14言語（認定者総計 207件 登録言語数 25言語）

(イ) 養成講座・分野別講座の実施

名 称	開催日	内容・講師（敬称略）
コミュニティ通訳・翻訳サポーター養成講座（オンライン）	12月7日 12月14日	講師：M I Cかながわ 通訳スタッフ 田中 圭氏（英語） 内容：概論、行動規範、通訳技術基礎 等
分野別講座 学校内における通訳養成講座	2月15日	講師：M I Cかながわ 通訳スタッフ 赤澤 千佳子氏（ポルトガル語） 内容：学校内での通訳の役割、通訳技術、通訳事例グループワーク 等
分野別講座 医療通訳養成講座 （英語 基礎編）	2月22日	講師：M I Cかながわ 通訳スタッフ 鈴木 万里子氏（英語） 内容：基本知識・ルール講義、通訳技術指導、通訳ロールプレイ 等
分野別講座 医療通訳養成講座 （中国語 基礎編）	2月22日	講師：M I Cかながわ 通訳スタッフ 佐藤 ペティー氏（中国語） 内容：基本知識・ルール講義、通訳技術指導、通訳ロールプレイ 等

分野別講座 医療通訳養成講座 (英語 上級編)	3月1日	講師：MICかながわ 通訳スタッフ 鈴木 万里子 氏 (英語) 内容：通訳事例グループワーク、 通訳ロールプレイ、通訳実技指導 等
分野別講座 医療通訳養成講座 (中国語 上級編)	3月1日	講師：MICかながわ 通訳スタッフ 佐藤 ペティ 氏 (中国語) 内容：通訳事例グループワーク、 通訳ロールプレイ、通訳実技指導 等
通訳事例研究講座 (医療・行政・福祉)	3月18日	講師：律 津 (協会職員、現役通訳) 内容：事例発表と意見交換

(ウ)活動実績

<通訳>

分野	言語	活動 件数	内容
医療	中国語、スペイン語、英語、ロシア語、ベトナム語、ネパール語、タガログ語、シンハラ語、フランス語、カザフ語	90	先天性心疾患手術説明、脳外科手術前説明、妊婦健診、帝王切開術前説明、歯科検診、消化器検査 (内視鏡等)、各科受診 (眼科、耳鼻咽喉科、小児科、整形外科等)、健康診断 (小学校入学時等)、心療内科受診、精神科受診 他
教育	英語、中国語、ロシア語、ペルシャ語、スペイン語、韓国語、タイ語、ネパール語、タガログ語、ベトナム語、タミル語	50	市内各小学校・中学校・高等学校での入学説明会、三者面談、進路相談、公立夜間中学校ガイダンス・施設見学、特別支援学級進路・就職相談・企業訪問 他
行政	中国語、英語、クメール語、タガログ語、ロシア語、インドネシア語、ポルトガル語	42	児童相談所、市民総合窓口手続き (国民健康保険料の軽減・減額申請、転入出届、児童扶養手当申請等)、年金手続き 他
子育て	中国語、英語、ミャンマー語、ベトナム語、ネパール語、ポルトガル語、ロシア語	42	妊産婦・乳幼児訪問指導、養育相談、入園手続き、保育所説明会・懇談会、発達相談、各種支援制度への申し込み・手続き支援 他
健康福祉	英語、スペイン語、中国語、タガログ語、タイ語、ポルトガル語、ロシア語	36	障害者基幹相談支援センター事業所説明、障害者福祉サービス説明、療育相談、社会援護課にて就労支援・相談、家計相談、高齢障害支援、介護保険サービス利用手続き 他
各種相談	英語、ロシア語、中国語、スペイン語、モンゴル語、タイ語	23	法律相談、入管手続き、就労・労働手続き、住まい相談、警察届け出、労働相談、雇用保険給付申請 他
税金	英語	2	市税事務所にて所得申告、千葉東税務署にて確定申告用 ID 取得手続き 他
合計		285	

< 翻訳 >

分野	言語	活動件数	内容
行政	韓国語、タガログ語、中国語、ネパール語、英語、モンゴル語、ポルトガル語、タイ語、シンハラ語、ヒンディー語	64	国民健康保険加入案内文、出生証明書、結婚証明書等、児童相談所資料、健康保険料未納通知廃棄物空気輸送システム資料 他
子育て	中国語、韓国語、ネパール語、ミャンマー語、タガログ語、シンハラ語、ベンガル語、英語	57	保育園利用のしおり、保育園適正利用リーフレット、教育・保育給付認定申請書兼施設（事業）利用申請書、保護者宛お便り、卒園式資料 他
教育	中国語、ロシア語	15	養護学校お知らせ文、アフタースクール入所案内、心電図検査のお知らせ 他
医療	タガログ語	3	入院患者への注意事項・持ち物指示書
各種相談	英語、シンハラ語	2	住宅施設や契約内容に係る説明書 他
合計		141	

ウ 国際交流ボランティア・リーダー会議

(ア) 通訳ボランティア・リーダー会議

自主学習グループのリーダー等による活動報告や課題を共有した。

また、今年度は新たに通訳事例の共有とその事例研究に取り組んだ。

< リーダー会議 >

開催日時	参加者・内容
6月8日	第1回 通訳ボランティアグループ・リーダー会議 通訳事例研究会 ・出席者：7人（3グループ代表及びメンバー） ・内容：(1) 通訳事例共有・意見交換 (2) コミュニティ通訳・翻訳サポーター実績報告
9月7日	第2回 通訳ボランティアグループ・リーダー会議 通訳事例研究会 ・出席者：5人（3グループ代表及びメンバー） ・内容：(1) 通訳事例共有・課題・意見交換 (2) コミュニティ通訳・翻訳サポーター制度の今後について (3) 今後の通訳事例研究会開催について
2月15日	第3回 通訳ボランティアグループ・リーダー会議 ・出席者：9人（7グループ代表等） ・内容：(1) 活動報告、課題検討 (2) リーダー会議次年度スケジュール

(イ) 自主学習グループへの通訳ボランティア活動及び勉強会への支援

自主学習グループとして、下記3分野で継続して独自に活動を展開している各通訳団体について、協会は引き続き情報提供、広報支援、専門機関との連携などの支援を通して、市民活動促進を図った。

(活動分野)

- ・医療通訳勉強会を含む外国人市民等への通訳支援活動
- ・異文化理解活動
- ・社会福祉支援活動

エ 国際交流・国際協力団体活動助成（市補助）

市内のボランティア団体等による在住外国人支援活動・国際交流・国際協力の促進を図るため、事業に要する経費の一部を助成し、在住外国人への支援に関する活動を優先的に助成した。

	団体名	事業名	助成額
1	土曜学級	土曜学級(外国につながる児童生徒のための日本語学習支援事業)	135,800
2	花見川土曜にほんご教室	外国人市民に繋がる日本語支援	128,940
3	美浜こどもにほんご教室	美浜こどもにほんご教室 開催	160,000
4	センシティ土曜にほんご学級	日本語を母語としない子ども達の日本語・教科支援	320,000
5	千葉市 JSL 児童・生徒支援の会	外国につながる児童・生徒のための日本語学習支援事業	200,000
6	みどり土曜にほんご学級	みどり土曜にほんご学級	200,000
7	ちば夜間中学をつくる会	ちば自主夜間中学運営	309,500
8	NPO 法人多文化フリースクールちば	学齢期を超過した外国につながる生徒への高校進学サポート事業	320,000
9	国際交流せいかつ日本語みはま会	国際交流せいかつ日本語みはま会 開催	100,000
10	日本語会話サークル小中台	外国人市民支援事業	100,000
11	千葉市英語通訳会 (CCES)	通訳ボランティア活動の為に英語スキルアップ勉強会	40,375
合 計			2,014,615

オ ちば市国際ふれあいフェスティバル支援

外国人市民と日本人市民の交流の場を創出するとともに、参加団体相互の連携を図るために開催される「ちば市国際ふれあいフェスティバル」の事務局として支援を行った。

会場については、昨年に引き続き令和5年春に完成した千葉市役所1階の市民ヴォイド及びまちかど広場を会場とし、国際理解の一環として様々な国の料理を知り楽しんでもらえるよう、キッチンカーを招き世界の料理コーナーを設置した。

内 容	開催日	場 所	参加団体	来場者数
ステージ発表、体験コーナー、パネル展示による活動紹介、バザー等	2月9日	市民ヴォイド まちかど広場	16 団体	約 950 人

(4) 情報収集・提供及び調査

ア ホームページ運営

協会の活動内容や外国人市民の生活に必要な情報等について、インターネットを通じて幅広く発信した。Facebook 及びLINEを併用することで、情報の提供頻度・量の充実を図った。

内 容	時 期
協会事業、生活情報、イベント情報、日本語教室、災害情報 等 (自動翻訳により 100 言語以上に対応)	通年

イ 協会情報誌発行

協会事業の案内及び報告、国際交流・理解等に関する知識及び意識の向上を図るため、市民向けに日本語情報誌「ふれあい」を発行した。

内 容	発 行	部 数	配布先等
「ふれあい」発行 111～113号	8月、12月、3月 (年3回発行)	各 3,000 部	賛助会員、市内公共施設、 ホームページへの掲載等

ウ 千葉市の生活情報提供

外国人市民に対し、ちば市政だよりを始めとする有益な生活情報を、外国人のための「ちば市政だより」として、協会ホームページに毎月掲載し、自動翻訳機能を活用して提供を実施した。

エ 情報ラウンジ

協会の多文化共生推進活動やボランティア活動などについての情報提供、市民間の情報交換用ボードを設置するなど外国人市民と日本人市民の交流の場を提供した。

内 容	時 期	場 所
国際交流・国際協力などに関する関係図書等の配置	通年	国際交流プラザ
ふれあいボード（市民間情報交換用掲示板）		

2 受託事業

(1) 千葉市から委託を受けた事業の実施

ア 国際交流プラザ運營業務

国際交流や外国人市民に対する相談、情報の提供などの場である「千葉市国際交流プラザ」の運營業務を実施した。

施設利用状況（開館日数 291日）

	会議室	国際交流ラウンジ					合 計
		日本語交流活動	外国人相談	多目的スペース	窓口対応	小 計	
件数	866	905	2,073	3,564	1,888	8,430	9,296
人数	10,082	1,810	1,804	3,564	1,888	9,066	19,148

イ 地域日本語教育推進事業

(7) 千葉市地域日本語教育推進会議

開催日	議題及び検討内容
7月29日	座長・副座長選出 令和6年度事業経過報告・課題検討 令和7年度事業の方向性検討
2月7日	令和6年度事業報告 令和7年度事業計画説明
推進委員 (順不同)	千葉大学 新倉涼子 神田外語大学 徳永あかね 双葉外語学校 小川早苗 千葉モードビジネス専門学校 宮下雅美 千葉商工会議所 経営支援部経営支援課 江川園美 ほっとスペース稲毛ペコリーノ 前原寛和 博興建設株式会社 佐藤茂 ベイタウン日本語教室 堀康二 美浜こどもにほんご教室 小林稔子 千葉市教育委員会事務局 生涯学習部生涯学習振興課 志保澤剛 公益財団法人千葉市教育振興財団 公民館管理室 中村文香 生活者 三浦テュイ 生活者 玄香花 千葉市 市民局市民自治推進部国際交流課 寺井隆 千葉市教育委員会事務局 学校教育部教育指導課 八斗孝之

(イ) コーディネーターの配置

職名	業務内容	氏名
総括コーディネーター	総合的な企画・調整・支援、教育プログラムの策定、事業推進のための大学・企業・NPO・日本語教室の活動状況把握やネットワーク促進	萬浪絵理 鈴木恵美子
地域日本語教育 コーディネーター	教育プログラムの策定、事業推進のための日本語クラスや研修の企画・運営・コーディネート	田中久美 中村香理

(ウ) 1対1日本語活動(マッチング：111組、905回活動)

外国人市民の社会参加と日本語学習の促進を目指し、あわせて、日本人市民の多文化理解の促進を図るために、日本語学習支援ボランティアを日本語交流員、外国人学習者を外国人参加者とし、日本語の習得だけでなく、日本語を使ってコミュニケーションする力が向上するよう、国際交流プラザでの対話形式もしくはオンラインを利用した日本語活動を行った。

(エ) 各種日本語クラス

名称	開催日	参加者	回数等	講師(敬称略)
初級クラス1	5月13日-9月19日	21人	2時間×30回	天野伸子、片岡由里子、田中久美、山田美穂
	10月1日-1月28日	15人	2時間×30回	
初級クラス2	5月14日-9月10日	13人	2時間×30回	天野伸子、片岡由里子、中村香理、山田美穂
	10月3日-2月10日	12人	2時間×30回	
グループクラス	5月15日-7月31日	54人	2時間×10回	天野伸子、片岡由里子、田中久美、西村海音、山田美穂
	5月25日-7月27日	55人	2時間×10回	
	9月4日-11月6日	44人	2時間×10回	
	9月7日-11月16日	54人	2時間×10回	
	11月27日-2月12日	33人	2時間×10回	
	11月30日-2月15日	56人	2時間×10回	
にほんごで はなすかい	6月7日、14日、21日 9月7日、14日、21日 12月10日、17日	外国人25人 日本人7人 協力団体24人	90分×8回	ファシリテーター 杉崎聖子、田中久美、中村香理

(オ) オンデマンド学習プログラム開発・運用

日本語を学ぶ外国人等が、場所や時間を問わずにオンデマンドで行えるよう、社会生活に役立つ「千葉市日本語学習プログラム」を開発し、運用を開始した。

(カ) やさしい日本語研修

外国人等の日本語習得を促進し、相互理解のための資質を養うため、外国人住民や職員が多い学校や地域団体等向けに「やさしい日本語」「多文化理解」研修を実施した。

開催日	対象・会場	人数	講師(敬称略)
7月1日	学校教職員 千葉市立花見川小学校	13人	中村香理
8月21日	教育関係者 オンライン	6人	
12月7日	一般市民 オンライン	6人	
2月15日	一般市民 轟公民館	19人	

(キ) 地域日本語教室への運営支援

市内日本語教室・支援団体の内、研修を希望した3教室に対し出張研修を実施した。

開催日	教室名	会場	人数	講師(敬称略)
10月31日	ちば夜間中学を つくる会	高洲 コミュニティセンター	24人	本間祥子
11月2日	みどり土曜 にほんご学級	緑保健福祉センター	22人	大山美佳
11月21日	国際交流せいかつ 日本語みはま会	美浜保健福祉センター	21人	加藤林太郎

(ク) 多文化ウェルカム団体紹介

外国人市民等多様な言語・文化を背景にもつ人々を仲間として歓迎する外国人市民が参加しやすい環境が整っているサークルや地域団体を9団体、紹介した。

(ケ) 企業支援

外国人従業員に対する日本語学習方法についてのアドバイスや協会の日本語クラス等の情報提供等することにより支援を行った。

(コ) 情報交換会・意見交換会の実施

開催日	名称	参加団体
1月18日	オンデマンド「社会生活に役立つ千葉市日本語学習プログラム」説明・情報交換会	17人
1月24日	日本語学校・専門学校・大学における「生活者としての外国人」への日本語教育 情報交換会	9人

(サ) 日本語学習アドバイジング

日本語学習希望者の相談に対応し、相談者の希望やライフステージに鑑み、戦略的に日本語を身につけられるよう、学習方法や学習素材、学習機会等をアドバイスした。

(シ) 日本語教育啓発のためのパンフレット・ポスター等作成・配布

現在や近い未来だけでなく先々を見据えて日本語を学ぶ重要性を外国人市民に啓発するため、外国人市民向け啓発ちらしや支援者向け啓発リーフレットを作成・配布した。

(ス) 日本語交流つなぎて講座

多様な言語・文化を背景にもつ市民同士がともに暮らし、ともにまなぶ多文化共生の地域づくりの担い手を増やすため、多文化共生における「文化」とは、「やさしい日本語『聴く』と『待つ』」、等を学ぶ講座を実施した。

また、活動の場や学習教材についても取り入れ、修了後の活動につながるような内容とした。

開催日	参加者	回数等	講師(敬称略)
7月2日～7月30日	23人	2時間×5回	神田外語大学 徳永あかね 萬浪絵理、田中久美、中村香理
11月9日～12月14日	18人		

(セ) 日本語交流員フォローアップ講座

活動している日本語交流員を対象に、「実際に活動する際のヒント」「活動のふりかえり」等を通して活動に関する相談やアドバイスをを行った。

開催日	テーマ	参加者	講師（敬称略）
6月29日	対話を続けるための「質問力」とは	11人	田中久美
12月11日	生活日本語支援～アプリやツールの活用法～	10人	萬浪絵理
1月11日	1対1日本語活動の活動内容について ～話題選びや対話素材の紹介～	20人	田中久美

(ウ) 日本語交流員説明会

1対1日本語活動や日本語クラスの特徴や活動方法を理解した上で活動に参加してもらうため説明会を開催した。

開催日	参加者
4月22日	2人
7月30日	19人
12月7日	16人

(ク) 事業報告リーフレットの作成・配布

(フ) 1対1日本語活動用教材の作成

テーマ別に1回完結で使用できるトピックシートを作成した。

第3 賛助会員(令和7年3月末現在)

区分	合計
個人	209人
法人・団体	59団体